

- 7月例会・納涼会
- 8月例会
- 9月例会・乙訓DREAMフェスタ
- 10月出向例会
- 会員拡大報告
- 11月例会・FTセミナー
- 次世代育成事業
- まちづくり推進事業
- 京都ブロック大会フェスタ
- 乙訓地域観光紹介



Instagram



Facebook



YouTube

幸せをカタチに

～地域に輝きを 組織に情熱を～

2022年 VOL3

～ 7月例会・納涼会～

7月9日(土) 11時より、株式会社LIV SUBACOグラウンドにて、7月例会・納涼会を開催致しました。

7月例会では前半の活動を糧に、より良い後半の事業実施へとつなげることを目的とし、後の納涼会では組織の一体感を醸成し、後半への活動意識を高めることを目的とし開催致しました。納涼会では、『幸せ』『情熱』『元気』『やる気』『笑顔』の5つテーマの中から抽選にて委員会に割り振り、各テーマに沿った料理を協力して作って頂きました。決められた時間で材料の仕入れや、協力し合って料理を作ることでさらにチームワークも深まりました。できあがった料理をみんなで食べ、テーマに沿った料理とおいしかった料理を投票にて決めていただきました。テーマに沿った料理と美味しかった料理には組織デザイン委員会が共に投票1位を獲得し、他のメンバーとも交流を深める機会となりました。



～ 8月例会～

8月6日(土) 10時より、8月例会を長岡京市産業文化会館1階大会議室にて開催致しました。8月例会では、地域の方々の協働体制を構築する一助となることを目的として開催致しました。乙訓青年会議所の活動が地域の方々に認知されていない現状を説明し、マーケティングのターゲットを絞り広報することで乙訓青年会議所の認知度向上につながることを理解して頂きました。

委員会発表では、事業後に投稿したSNSからニーズやトレンドの分析や調査をし、デジタルマーケティングを行い、多様化する趣向や興味や関心のある情報を捉えることで共感を生み、今後の乙訓青年会議所の広報における的確なマーケティングを実現するという内容を発表させて頂き、これまで以上にブランディング戦略委員会内で話し合いし、広報を見直すことで、ブラッシュアップしたSNS投稿内容や新聞記事を作り上げていきたいと感じました。



～ 9 月例会・乙訓 D R E A M フェスタ～

9月4日（日）12時より、長岡天満宮にて9月例会を開催致しました。9月例会では、後のドリームフェスタに向けて、メンバーが一致団結して臨めるよう、主催者としての意識を高めて頂くことを目的として開催致しました。まずは、ドリームフェスタの内容についての説明を行い、メンバーの動きを再確認しました。そして、後の乙訓ドリームフェスタに向けて、メンバーが一致団結して臨めるようにシュプレヒコールを行い、成功への気運を高めました。そして15時より、乙訓ドリームフェスタを開催致しました。昼の部では、2市1町の首長挨拶から始まり、ステージ上では、ダンスパフォーマンスや合唱などがあり、会場は大いに盛り上がりました。出店ゾーンでは、乙訓地域にある13店舗の飲食店、諸団体にご協力頂き、来場者に飲食を通じて地域の魅力を感じて頂きました。体験スペースでは、地域の特産である竹を使い、子供達にも地域資源の魅力を知って頂きました。夜の部では、八条ヶ池のライトアップとバイオリンと琴による演奏やフィナーレには音と光の噴水によるショーが実施され、来場者には、視覚だけでなく、聴覚でも楽しんで頂き、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。



～ 1 0 月 出 向 例 会 ～

10月13日（木）長岡京市中央生涯学習センター 3階メインホールにて10月出向例会を開催致しました。第1部では出向をテーマに「委員会対抗ディベート対決」を致しました。出向経験の有無に関わらず、メンバーが出向について自ら考え討論して頂くことで、出向についての理解を深めて頂きました。第2部では、「各出向先の自慢大会」を致しました。本年度出向者しているメンバーが各出向先の魅力を発表する事で、全メンバーが各出向先の理解を深めて頂きました。第3部で全メンバーに次年度に向けた意気込み発表をして頂きました。例会を通じて、出向について深く考え、理解を深め、ディベートという場で自らの意見を言うことで、次年度の出向への意欲向上へとつながる機会となりました。



～ 会 員 拡 大 報 告 ～

正会員数 47名（2022年11月19日現在）



塘 崇弘（トモ タカヒロ）
7月入会
生年月日
1990年9月13日
総務財政委員会

～ 1 1 月例会～

11月10日（木）11時より、長岡京市産業文化会館にて11月例会を開催致しました。11月例会では、後に行われるFTセミナーの必要性や重要性を改めて理解して頂くことを目的とし開催致しました。FTセミナーでは、青年会議所運動に対する主体者意識を醸成させ、組織の持続的な発展につなげることを目的に開催され、VMVセミナーやチームで協力しながら課題解決することでチームワークを醸成し、1人ではできないことも様々な価値観を持ち寄ることで解決することができることを改めて認識することができるマッシュマロチャレンジ、「乙訓地域の課題解決について考える」をテーマにチームごと発表を行い、受講者スピーチを通して、改めて組織の理念や存在意義を理解するだけでなく、次代に継承することで組織の持続的な発展につながることを再認識することができました。



～ 次世代育成事業～



11月10日（木）11時より、長岡京市産業文化会館にて11月例会を開催致しました。11月例会では、後に行われるFTセミナーの必要性や重要性を改めて理解して頂くことを目的とし開催致しました。FTセミナーでは、青年会議所運動に対する主体者意識を醸成させ、組織の持続的な発展につなげることを目的に開催され、VMVセミナーやチームで協力しながら課題解決することでチームワークを醸成し、1人ではできないことも様々な価値観を持ち寄ることで解決することができることを改めて認識することができるマッシュマロチャレンジ、「乙訓地域の課題解決について考える」をテーマにチームごと発表を行い、受講者スピーチを通して、改めて組織の理念や存在意義を理解するだけでなく、次代に継承することで組織の持続的な発展につながることを再認識することができました。

～まちづくり推進事業～

第1回では京都府内の大学生と一緒に出身地の強み、弱みの抽出を行い、成長戦略マップを活用して、地域の課題を見つけることで課題を解決すべき問題の認識をしました。第2回では2市1町の役所の環境分野を担当する担当者様より各地域での取り組みについてご説明頂き、個人がそれぞれの活動領域でできることを考えました。第3回では地域にとって大事な防災についてコーディネーターの方に来て頂き、どのような活動をしているのかをお聞きし、グループワークを行い、災害がおきた際の行動などの話し合いをしました。第4回では大学生と地域諸団体の方達と循環経済への取り組む価値を「社会的付加価値」との関係図を用いて説明し、循環経済へと発展させるための計画立案について考える機会になりました。第5回ではこれまでの学びを踏まえてグループごとに分かれて現地視察や独自調査を発表し、循環経済へと発展させるための方向性を決めるグループワークをしました。臨時も間に挟み、第6回では前回のグループワークのブラッシュアップをする回になりました。第7回では循環経済への発展させるためには今までの学んだことを活かし何ができるのかまとめることによって臨時を含め8回のまちづくり推進委員会を通じて地域の方やこれからを担う若者たちと、明るい豊かな社会の実現の礎になったと思います。



2022年度 ～京都ブロック大会フェスタ～

9月25日(日) 11時30分より、天王山夢ほたる公園にて京ONEフェスタが開催されました。会場では京都の各地域が特産物を出店する「京都グルメエリア」と、移動式で飲食を提供できるキッチンカーの出店があり各地の美味しい物を堪能することができました。他にも、リアルとバーチャルが融合した新感覚アクティビティによる乙訓地域の歴史体験や献血ゾーン、空中ブランコやアクロバティックなショーを披露して頂いた「いくらサーカス大阪」による出張サーカスによるイベントなど楽しい企画が盛りだくさんの京都の魅力を感じることができるフェスタとなりました。



～乙訓地域観光地紹介～

長岡京市、向日市、大山崎町の2市1町の魅力を発信することを目的とし、地域の観光地を紹介する企画の第2回目は大山崎町の聴竹居、宝積寺をご当地キャラクターラランちゃんと田中理事長が巡りました。聴竹居は竹中工務店に在籍していた故・藤井厚二が、1928年に京都府 大山崎町に建てた自邸です。日本の気候風土と西洋的な空間構成を融合させた近代住宅建築の名作と位置付けられています。宝積寺は神亀元年(724年)、聖武帝の勅願に行基菩薩により建立されました。通称は「宝寺」(たからでら)。天正10年(1582年)、天王山が羽柴秀吉と明智光秀が戦った山崎の戦いの舞台となり、秀吉が腰掛けたとされる出生石や、三重塔、金剛力士像などの重要文化財となっております。第3回目は向日市のまちてらすMUKO、竹の径をご当地キャラクターからっきーと田中理事長が巡りました。まちてらすMUKOには、向日市で栽培されている新鮮な野菜や向日市ならではのお土産も販売されており、観光客だけでなく地元の方々も多く訪れる地域交流型の新たなスポットとして知られています。地元農家さんの想いやまちへの想いを教えて頂き、新たな向日市の魅力を知ることができました。竹の径は、向日市を代表する観光名所で、竹林の景観の保全のために孟宗竹を使って整備された全長約1800mの竹林道です。癒しのスポットとして、一度は訪れて頂きたい素晴らしい観光地です。



- 2月セレモニー例会
- 3月例会
- 4月セレモニー例会
- 5月例会
- 6月セレモニー例会
- 乙訓地域観光地紹介
- 会員拡大報告
- 京都ブロック大会



Instagram



Facebook



YouTube

幸せをカタチに

～地域に輝きを 組織に情熱を～

2022年 VOL 2

～ 2月例会～

2月10日(木) 新型コロナウイルス感染予防対策として、蔓延防止等重点措置期間であったため、ZOOMにて、2月セレモニー例会を開催致しました。

2月セレモニー例会では、組織の結束力を高めることを目的とし、各委員会、会議体が活動報告を行いました。まず、委員会メンバーの紹介や委員会設置背景、設置目的、担当事業を説明し、年間委員会活動計画と現在行っている委員会の動きを発表しました。

そして、1年間の方向性やメンバーの想いと各委員会、会議体の活動内容を共有し、全メンバーが理解することで組織の結束力向上へとつなげる機会となりました。



～ 3月例会～

3月10日(木) 19時20分より、3月オープン例会を長岡京市中央生涯学習センター3Fメインホールにて開催致しました。「未来を切り開くには」をテーマに、河野太郎衆議院議員に基調講演をして頂きました。国政や一般企業の経営を通して培ってきたイノベーションに対する知識や経験についてご講演頂いたことで、メンバーや参加者が国や企業において新たな価値を創造することが必要とされていることについて理解し、見識を深めることができました。続いて、ワークショップ型対談公演では「変化に打ち勝つイノベーション」をテーマに河野太郎衆議院議員、田中望麻理事長が対談形式で講演を致しました。対談公演の内容は「急激な社会情勢の変化のなかでも成長し続けることができる「企業づくり」や「まちづくり」について」を参加者の皆さんとともに議論し、地域社会について柔軟に変化していく大切さ、また変化を起こす人財の必要性について理解することができ、共感につなげることができました。また、現地やYouTube上で非常に多くの方々にご参加頂きありがとうございました。



～4月メモリアル例会～



4月14日(木)18時30分より、長岡京市中央公民館3階市民ホールにて、4月メモリアル100%出席例会を開催致しました。本例会では、先輩諸兄姉と現役メンバーで乙訓青年会議所の創立をお祝いし、乙訓青年会議所の42年間の歩みと先輩諸兄姉の行ってきた運動や組織の歴史を振り返りました。乾杯のご挨拶を第3代理事長の山口勲様に頂戴し、飛竹会会長 橋本光夫様よりご祝辞を頂きました。組織の存在価値を高めることのできる人材となることを目的として委員会発表では創立からの歩みを映像でご覧頂きました。また歴史ブースの展示では組織の創立された経緯や組織の歴史に触れ、「周年記念」「フェスタ」「青少年事業」「社会福祉活動」ブースについての資料や記念品やトロフィーなどを通じて乙訓青年会議所の理念と存在意義について理解して頂く機会となりました。最後に、今後の理想の組織について話し合うことで誇りに思う組織を創造することを目的にグループワークを行いました。グループ毎で発表することにより理念とのつながりを共有でき、組織の理念が浸透することにつながりました。先輩諸兄姉が紡いできた思いを理解し、しっかりと引き継ぎ、活動していきたいと思えます。委員会発表の内容についてはYouTube「乙訓JCチャンネル」に投稿されておりますので、是非ご覧ください。

拡大状況・入会者紹介

正会員数46名(2022年6月6日現在)



嶋村 悠斗
(シマムラ ユウト)
3月入会
生年月日
1998年4月25日
地域開発委員会



西 勇也
(ニシ ユウヤ)
3月入会
生年月日
1985年5月25日
地域開発委員会



林 直也
(ハヤシ ナオヤ)
5月入会
生年月日
1986年2月19日
組織デザイン委員会

～ 5 月 例会 ～

5月12日（木）18時30分より、長岡京市産業文化会館 1階大会議室にて、5月例会を開催致しました。

地域資源を活用した新たな発想を生み出せる人財の育成につなげることを目的とし、委員会発表では「循環経済」における地域資源活用の重要性を事例に交えながら説明することで、「循環経済」に必要な先進的な手法や発想力への認識につながりました。

また、先進的な手法や発想力を学ぶ機会として、京都ブロック大会を紹介し、その内容を説明することで取り組みへの理解につなげました。そして、過去のブロック大会と前回のブロック大会主管時の取り組みを説明し、より具体的なイメージを持って頂くことで、当事者意識の醸成を図ることができました。

そして、ブロック大会運営委員会の出向者からのPRや意気込みを聞き、また、LOMからの意気込みとして各委員長から意気込みを聞くことでブロック大会に向けての気運が高まり、最後に、メンバー全員でシュプレヒコールを行い、京都ブロック大会成功に向けてメンバー一丸となりました。



～ 6 月 例会 ～



6月9日（木）18時30分より、産業文化会館大会議室にて、6月セレモニー例会が開催されました。

本例会はメンバーと出向者の相互協力体制の確立を目的とし、各出向委員会、会議体による出向者報告が行いました。京都ブロック協議会の理念浸透アカデミー委員会から河地委員、JCの機会提供委員会から金田委員、ブロック大会運営委員会から騎馬委員、近畿地区協議会の輝く人財育成会議から下戸副議長、日本青年会議所社会グループのTOYP委員会から仮屋園小幹事より、これまでの活動内容や想い、今後のPRを発表致しました。LOM以外でも活動されている各出向者報告を聞くことで参加しているメンバーの刺激となり、活動内容や想いについて共有することができました。地域により良い影響を与え続ける組織に発展するためには、メンバーと出向者の相互協力で活動することで、今まで以上に活動や学びの機会が増え、その機会こそが個人、組織の成長へつながることを理解して頂くことで、協力意識の向上へとつながりました。

2022年度 ～京都ブロック大会～

【第50回京都ブロック大会 乙訓大会 式典】

5月22日（日）に乙訓の地にて第50回京都ブロック大会が開催されました。

オープニングアクトでは、乙訓地域で活動しているアマチュア吹奏楽団の京都管楽合奏団 ARTY BEARSによる音楽演奏にはじまり、子育て支援や地域活性化のために活動をしているAKJダンスチームの演舞があり、シンガーソングライターの月歌(るか)さんの国歌独唱で素晴らしい開演となりました。公益社団法人日本青年会議所近畿地区京都ブロック協議会 第50代会長 中山 良君から京都ブロック協議会への想いを述べていただき、公益社団法人乙訓青年会議所第43代理事長 田中 望麻君が主管青年会議所理事長挨拶をされました。褒賞授与式も行われ、「乙訓DREAMフェスタ」が乙訓初のグランプリを受賞しました。褒賞授与式とは府内各地青年会議所が展開している事業に対し、栄誉をたたえるとともに、素晴らしい運動を内外に広めることで今後の青年会議所の発展、更には地域の発展の一助となる考えで行われております。地域の皆様に元気を届ける事業が認められ、喜びと皆様への感謝の気持ちで一杯です。フォーラム第1部では新たな発想力を備えた人材育成を目的とし、2ちゃんねる創設者の西村博之氏とファシリテーターとしてひげおやじ氏をお迎えし発想力についてご講演をしていただきました。第2部では西村博之氏、中山会長、田中望麻君との鼎談は見応えがありました。第3部では事前と当日質問を集めお二方にお応えいただき大変盛り上がりしました。上記講演はyoutube配信しており1万回を超える再生回数で大変注目をされています。是非ご覧ください！<https://youtu.be/1RMUZL3PFZc>



～乙訓地域観光地紹介～

乙訓青年会議所では、長岡京市、向日市、大山崎町の2市1町の魅力を発信することを目的とし、田中理事長とご当地キャラクターと一緒に観光地を巡り、地域の観光地を紹介していきます。第1回目は長岡京市の勝竜寺、長岡天満宮、乙訓寺をご当地キャラクターお玉ちゃんと田中理事長が巡りました。牡丹寺として有名な乙訓寺ですが、本年度のぼたん祭りは中止となりました。それでも多くの観光客が訪れ、お玉ちゃんは大人気でした。長岡天満宮では、天然記念物に指定されているキリシマツツジが綺麗に咲き、夏は菖蒲、秋には紅葉と四季を感じられる場所でした。お玉ちゃんが幸せな新婚生活をした勝竜寺では観光だけでなく、切り絵体験や寺ヨガ体験など各種体験も行っております。長岡京市は今年10月1日に市制施行50周年を迎えます。皆様も長岡京市の観光地へ是非、足を運んでみてください。次回は7月下旬に大山崎市の宝積寺、聴竹居、大山崎山荘美術館を田中理事長とラランちゃんが巡り、大山崎町の魅力を発信していきます。



- 理事長挨拶
- 2022年度委員長意気込み
- 12月例会・卒業式・忘年会
- 1月例会・新春交歓会
- 1月～6月プログラム表
- 京都ブロック大会告知



Instagram



Facebook



YouTube

幸せをカタチに

～地域に輝きを 組織に情熱を～

2022年 VOL 1

～理事長挨拶～

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、良き新春をご家族、ご友人と健やかに、そして輝かしくお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より公益財団法人乙訓青年会議所の運動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年度、乙訓青年会議所は43年目を迎える中、多くの先輩諸兄姉が紡いでこられた軌跡と組織への誇りを次代へ継承するとともに、急激な社会環境の変化に適応できる柔軟な思考と迅速な対応力で、より質の高い運動を展開できる新たな組織体制を確立する必要があります。そのためにも、今一度地域にとって本当に必要な運動を展開できているか改めて見つめ直すべき時だと考えます。歴史と自然が調和する人口約15万人の長岡京市、向日市、大山崎町の2市1町で形成された乙訓地域は地域の特性や新たな社会基盤の確立から住みやすい地域として、人口も緩やかに増加し、発展を遂げてきました。しかし、日本全体が直面する超高齢化、人口減少社会による経済危機や、気候変動などの様々な社会問題はこの地域においても私たちのすぐ目の前に迫ってきています。さらに、新型コロナウイルスによる多大な影響は、誰もが経験したことの無い試練を私たちに与え、先の見えない社会情勢に疲弊し、輝きを失った企業や人々も少なくありません。しかし、私たちは運動を止めることなく青年会議所にしかできない大胆な政策と、私たちにしかできない行動力で経済、社会、環境に好循環が生まれる循環経済を推進し、乙訓地域の持続的な成長と自立的な発展につながるアクションを起こし続けなければなりません。本年度、私たちは「幸せをカタチに地域に輝きを組織に情熱を」をスローガンに掲げ、全ての人が輝き、笑顔溢れる幸せな社会を目指し活動してまいります。時代は利益を目的とする「競争」から、社会の課題解決を目的とする「共創」へと変化し、地域においても「共創」から生まれる新たな価値こそ、地域独自の発展を遂げていく重要な基盤です。私たちは、改めて地域との関わりを再定義し、様々なパートナーとともに地域に好循環が生まれる持続的な運動を推進してまいります。そして、時代の急激な変化に適応した新たな組織体制を確立し、未来をデザインする思考と粋な遊び心をもって全ての人がキラキラと輝き、住まう地域に幸せを実感できる地域の実現に向け邁進してまいります。さらに、本年度乙訓青年会議所は、50周年の節目を迎えます公益社団法人日本青年会議所近畿地区京都ブロック協議会の第50回京都ブロック大会の主管を務めさせていただきます。京都府内の各地青年会議所が乙訓の地に集まり、乙訓の地から京都の魅力を最大限に発揮できる記念すべきブロック大会にするためにも、メンバー全員で京都に新たな価値を創造致します。本年度も乙訓青年会議所の運動に2市1町の首長を始めとされます各行政、諸団体、そして多くの市民の皆様や先輩の皆様のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。そして、全ての皆様の今後のご健勝とご活躍、さらに本年度が幸せな1年になりますことを心よりご祈念申し上げます。



第43代 理事長
田中 望麻

2022年度 各委員長の意気込み！



地域開発委員会
谷 政憲

地域づくり、まちづくりは、良い手法を考えても、周りからの共感を得られず協力を得られなければ、ただの絵空事に終わってしまいます。逆に地域の人々から共感と協力が得られれば、ともに大きな運動を巻き起こすことも可能です。そして、地域開発委員会の活動は地域の人々との協働が不可欠であり、今まで以上に地域にコミットした活動が必要であると考えます。そのためには、委員会メンバーが共通の認識をもてるようコミュニケーションを密にすることで質の高い活動ができるようにするとともに、地域の人々に活動の目的を伝えられるようにする必要があります。しっかりと地域の人々とともに新たな発想をもって、住まう人々が幸せに暮らせるまちづくりを目指して一年間活動してまいりますのでよろしくお願い致します。



組織デザイン委員会
富田 達也

本気で取り組むからこそ面白く、本気で取り組むからこそ満足感が得られる。私達『組織デザイン委員会』は「笑顔をデザイン」をテーマに、事業や会員同士の交流など、青年会議所のあらゆる活動を一丸となって本気で取り組み、最後には皆で笑って終わられるような委員会運営に取り組みます。そのためには、委員会メンバーそれぞれの意見を尊重し、スタッフだけで委員会を運営するのではなく『委員会メンバー全員が主役』である組織デザイン委員会を創り上げて参ります。そのことでメンバーが笑顔になり、延いては地域を笑顔にさせることに繋がると考えております。

皆様の「幸せをカタチに」するため、1年間しっかりと委員会で行き届いて参りますので、皆様からのご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



ブランディング戦略委員会
中野 翔太

私達ブランディング戦略委員会は「魅力的な広報で皆に笑顔を」をテーマに、1年間活動してまいります。主な担いとして4月メモリアル100%出席例会、8月例会、卒業式・忘年会という重要な事業を担当させていただきます。また、乙訓青年会議所の活動や運動の情報や魅力について、乙訓NEWSやホームページ、様々なSNSにより戦略的に情報発信していき、地域の方々に私たちの活動や運動の共感や信頼につなげ、地域に必要な組織としての存在価値を高めていきます。委員長として、委員会メンバーへの感謝の気持ちを忘れず、一人ひとりの成長を第1に考え、多くの学びの機会を提供できるようスタッフとともに楽しい委員会運営を目指してまいりますので1年間どうぞよろしくお願い致します。



総務財政委員会
姜 星輝

本年度、総務財政委員会は各委員会の下支えや、牽引する存在ではなく、メンバーの気持ちを察し、苦楽をともにする、メンバーに寄り添える存在になります。総務財政委員会メンバーにはやりがいと達成感を実感して頂き、乙訓青年会議所の未来を担える主体的な人財へと成長することをお約束致します。そしてこれまでの常識的な前提にとらわれない、さらに相乗効果を発揮できる新しい運営スタイルへと「アップデート」し、個人、委員会、組織の3側面が地域により良い影響を与え続けていける乙訓青年会議所になれるように委員会運営を行ってまいります。

どうぞ1年間よろしくお願い致します。

2021年度 12月例会・卒業式・忘年会

2021年12月9日（木） ANAクラウンプラザホテル京都（平安の間）にて公益社団法人乙訓青年会議所の12月例会および卒業式と忘年会を開催しました。

例会では2021年度の活動を振り返り顕著な活躍をされたメンバーを讃える褒賞授与式を行い、2021年度の活動総括を小西理事長よりお話ししました。後に理事長バッジ・直前理事長バッジ交換並びにプレジデンシャルリース伝達式を執り行い、田中理事長予定者より2022年度へ向けた抱負や意気込みをお話ししました。

卒業式では先輩諸兄姉の方々に多数ご出席を頂き、盛大に開催することができました。

卒業生のスピーチでは一人ひとりに、青年会議所活動から感じたことや学んだこと、感謝したこと、様々な想いを情熱的に先輩諸兄姉、残るメンバーへ向け話しました。送辞・答辞ではそれぞれの代表の想いを感じ、今後の活躍に向けたエールを交換しました。

忘年会においては、映像にて2021年度の事業の振り返りを行いました。

理事長挨拶では小西理事長に1年間の活動に対する謝辞と次年度以降の活動に対する挨拶をし、次年度役員紹介では田中理事長予定者が1年間の抱負を話すことで、参加頂いた先輩諸兄姉の方々と2022年度の方方向性や想いの共有することができました。



1月予定

- 4日 事務所開き
- 6日 宮津新春
- 7日 宇治新春
- 8日 山城新春
- 船井新春
- 11日 亀岡新春
- 12日 乙訓新春
- 13日 京都新春
- 高槻新春
- 14日 福知山新春
- 16日 城陽新春
- 17日 綾部新春
- 20日 京都会議
- 21日 京都会議
- 22日 京都会議
- ロムナイト
- 青松会
- 25日 京丹後新春
- 31日 通常総会
- 会員会議所 (乙訓)

2月予定

- 10日 2月セミナー例会
- 京都ブロック協議会
- 会長公式訪問
- 27日 桂川クリーン作戦
- 会員会議所会議 (綾部)

3月予定

- 2日 ジャガイモゴルフコンパ
- 10日 3月例会
- 28日 会員会議所会議 (亀岡)

4月予定

- 14日 4月メモリアル100%出席例会
- 24日 会員会議所会議 (福知山)

5月予定

- 12日 5月例会
- 22日 京都ブロック大会
- 25日 会員会議所会議 (城陽)
- 26日 アスパック
- 27日 アスパック
- 28日 アスパック
- 29日 アスパック

6月予定

- 9日 6月例会
- 26日 会員会議所会議 (宮津)

2022年度 1月例会・新春交歓会



2022年1月12日（水）、ANAクラウンプラザホテル京都にて、新型コロナウイルス感染防止対策をし、現地開催とWEB配信のハイブリット形式にて、1月例会を実施致しました。1月例会では、第43第理事長・田中望麻君より、「幸せをカタチに ～地域に輝きを 組織に情熱を～」のスローガンに基づき1年間の運動の方向性や、想いをお話することで、乙訓青年会議所メンバーはもちろんのこと、ご参加頂きました地域諸団体の皆様、スポンサーJCであります公益社団法人京都青年会議所様をはじめ、多くの青年会議所の方々に、理解して頂けたと考えます。



本年度は、京都ブロック大会を乙訓の地で開催致します。乙訓の地から京都の良さ、乙訓の良さを存分に発信できるように尽力していきます。最後になりましたが、新年のお忙しいなか、ご参列賜りました皆様には感謝申し上げます。昨年までの経験を活かし、本年度も青年会議所活動を実施して参ります。どうぞ1年間宜しく願い申し上げます。



京都ブロック大会 意気込み！



京都ブロック大会
運営委員会
委員長

松宮 一貴



2022年度、第50回京都ブロック大会は、『乙訓の地』にて開催されます。乙訓青年会議所からは、ブロック大会運営委員会に委員長として松宮一貴君、総括幹事として島津陽慎君、会計幹事として佐伯昌裕君、委員として今井政樹君、田中炳穂君、村田朋紀君、山中拓哉君が出向しています。記念すべき50回目の京都ブロック大会では、乙訓地域の魅力が皆様の記憶に残るブロック大会にしたいと考えております。また、9月には新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、フェスタも開催予定です。皆様と一緒に京都ブロック大会を創りあげていこうと考えていますのでご協力よろしくお願い致します。